

アルゼンチン・ブエノスアイレス近郊線網に自動列車停止装置（ATS）を納入する件

丸紅株式会社（以下「丸紅」）とアルゼンチン国営鉄道管理公団（Administración de Infraestructuras Ferroviarias S. E、以下「ADIF」）が昨年締結したブエノスアイレス近郊線網^{※1}（以下「近郊線網」）向け自動列車停止装置^{※2}（以下「ATS システム」）の納入契約（以下「本契約」）に関連し、2017年5月19日に株式会社国際協力銀行（以下「JBIC」）とアルゼンチン共和国（以下「アルゼンチン」）政府との間で、融資契約が締結されました。丸紅は、日本信号株式会社（以下「日本信号」）製ATSシステム280編成分並びに地上装置一式を、近郊線網全線を対象に順次納入します。

アルゼンチンでは、2015年12月のマクリ政権誕生以降、大規模なインフラ整備計画が策定され、外国からの投資誘致活動が積極的に行われています。また、2016年11月に行われた安倍首相と同大統領との首脳会談では、JBIC、株式会社日本貿易保険（以下「NEXI」）の支援を通じた日本の技術輸出促進について協議されました。本契約はそれを踏まえた取組みとなり、JBIC及びドイツ銀行東京支店（以下、「ドイツ銀行」）による協調融資が提供され、ドイツ銀行融資分に対してはNEXIによる貿易代金貸付保険の付保が行われます。

丸紅は、1981年と2015年に日本信号製ATSシステムを、近郊線網の中でも利用者が多いロカ線向けに受注・納入しました。同ATSシステムは現在に至るまで30年以上に亘り安全運行に寄与してきました。今後、同ATSシステムが近郊線網全体で利用されることにより、鉄道運行における安全性並びに定時性が高まります。ブエノスアイレス市の慢性的な交通渋滞の解消にも寄与し、市民生活の向上が期待されます。

丸紅は、今後も鉄道インフラ整備案件を通じて、アルゼンチンの更なる経済成長に貢献していきます。

以 上

● ADIF 概要

所在地：アルゼンチン・ブエノスアイレス市

設立：2008年

事業内容：近郊線網の設備の購入、整備、管理等。

※1 ブエノスアイレス近郊線網

8路線（ロカ線、サルミエント線、サン・マルティン線、ベルグラノー北線、ミトレ線、ウルキサ線、ベルグラノー南線、トレン・デ・ラ・コスタ線）から構成される、総路線距離700km超の都市鉄道網。

※2 自動列車停止装置（ATS=Automatic Train Stop）

停止信号において、列車が停止するように自動的にブレーキ制御を行う装置。



近郊線網

- ロカ線、■ サルミエント線、■ ミトレ線
- サン・マルティン線、■ ベルグラノー南線
- トレン・デ・ラ・コスタ線

記載の無い2路線（ベルグラノー北線、ウルキサ線）は、民間コンセッション会社にて運営されています。

(出典：アルゼンチン国営鉄道運営公団)



ATS 車上装置
(出典：日本信号)



ATS 地上装置
(出典：日本信号)



ロカ線の車両
(左) 日本製車両 (1985年～)
(右) 中国製車両 (2015年～)
(出典：丸紅撮影)